

卯辰山・常盤橋コース

夢香る卯辰山「緑樹の息吹と眺望景観の美」

豊かな自然が今も残る卯辰山。市街地からも近く、花や緑を求めて散策するには最適な場所です。見晴らし台からの展望は、新しい金沢の眺望や俯瞰景観として心深く感動する風光のひとつです。

天神橋 → 常盤町緑地 → 玉兎ヶ丘 → 卯辰山見晴らし台 →
健康交流センター千寿閣 → 鈴見橋 → 常盤橋 → 静明寺



●天神橋

アーチ型の美しさを誇る天神橋。浅野川独特の風情と調和して、水と緑の豊かな景観を創出しています。川の流が緩やかなところもあり、小学生による水生生物調査も行われています。

川沿いを上流に進みます。



天神橋

●常盤町緑地

常盤町緑地は卯辰山に面した緑地です。浅野川の流れを背に木漏れ日を浴びながら竹林を抜けると休憩空間があらわれ、石川門をはじめ市内の風景が眺められます。特に夕映えがあたりを茜色に染める様は格別です。緑地内では、ソメイヨシノ、ヤマモミジ、ツツジなどもみられます。

多目的芝生広場から、鬱蒼とした雑木林に覆われた卯辰山への登り道を進みます。生い茂った木々の間から野鳥のさえずりや、遠くからはキジの鳴き声がかたまります。急勾配の道を登りきり、左に卯辰山三社、眼下に花菖蒲園をみながら卯辰山公園線を右に進みます。

●玉兎ヶ丘から見晴らし台へ

玉兎ヶ丘の案内板に従って遊歩道に入ります。視界が開け、小立野台地や市街地がみえてきます。

卯辰山は、春日山、愛宕山、茶白山あたごやまなどの多くの峰や丘の集まりで、玉兎ヶ丘のあたりは茶白山の峰の一角といわれ、卯辰山開拓時に削り取られた場所です。枝ぶりが特徴的なマツの姿が印象的で、秋には紅葉も楽しめます。

玉兎ヶ丘の正面が卯辰山見晴らし台ではヤマモミジとヤマザクラ、ツツジなどが時節に応じて彩りを深めます。その名のとおり、市街地のまちなみや河岸段丘、丘陵地はもちろんのこと、白山山系から日本海までもが展望できます。金沢の新しい眺望・俯瞰ふかんを楽しむスポットです。

●緑とのふれあいの場

高校相撲全国大会の会場として有名な県営卯辰山相撲場から卯辰山公園健康交流センター千寿閣へ向かいます。健康交流センター千寿閣は平成16年4月、卯辰山の豊かな自然の中で緑に親しみながら福祉、環境、教育などさまざまな活用ができる施設として開館しました。屋外には、ふれあい花壇や市民の森など

があり、ソメイヨシノ、ウメ、ツツジなどが花咲きます。

●タヌキのトンネル

千寿閣前の進路下にトンネルが通っています。通称「タヌキのトンネル」と呼ばれる、タヌキなどの小動物を交通事故から守るための横断地下道です。野生動物との共存を図るための環境に配慮した取り組みのひとつであり、タヌキやイタチなどの利用が確認されています。



常盤橋

●鈴見台から常盤町へ

三叉路を右に折れます。鈴見台の通りを進みます。歩道には、等間隔に木製の花壇が置かれ、温もりが感じられます。鈴見台第三児童公園横の階段を下りる

と、東御影川の流れがあらわれます。金沢外環状（山側環状）道路の鈴見高架橋を抜け、鈴見橋に向かいます。浅野川左岸の桜町・材木町かわいの落ち着いたまちなみをしばらく進むと、常盤橋があらわれます。

●常盤橋

浅野川の七つ橋めぐり（渡り）の橋のひとつ、常盤橋。天神橋や浅野川大橋のような力強さはありませんが、桃の花のような、うすあかい色の欄干が上品さを醸し出しています。交通量や人通りもあまりなく、橋のたもとで佇めば、川の瀬音が静かな時を刻んでいきます。

●静明寺

徳田秋聲の家の菩提寺として、また、卯辰山山麓寺院群をつなぐ散策路「心の道」の起点として知られる静明寺の境内は、ケヤキ、エノキ、タブノキ、ツツジ、ツバキなどのたくさんの木々が、浅野川を背景に静かな趣を描き出しています。



静明寺